

108 学年度第一学期 ワンアジア財団国際講座

「人文通識：アジア共同体：東アジア学の構築と変容」シリーズ講座(4)

題目：東アジア文化共同体と漢字交流—韓国漢字文化における漢字の影響—

第4回ワンアジア財団国際講座は、韓国の明知大学中国文学科教授で同大学アジア研究所所長の姜允玉先生がご担当なされた。姜先生は長く中国出土の儒家文献と中国文字研究に従事した国際的な漢字研究者である。

姜先生は先ず東アジア地区（中日韓）に存する過去の歴史問題について、政治的アイデンティティや社会的アイデンティティが低いため領土紛争が頻発したが、また共通点を見ることもできるのであって、それは例えば儒家文化圏や漢字文化圏であると述べた。

また、姜先生は、中日韓の三か国は古代から漢字による記録方式が同様であると示した。漢字文化は漢代の武帝の時期に朝鮮半島へと伝わり、それは論語を記した竹簡が出土していることで証明できるとした。大韓半島では中国が紙を使い始めるまで竹簡で論語の文化を学んでいた。その後、韓国に中国の儒家文化が伝わり、自国文化と結合し、独特な儒家文化が形成された。韓国が儒家文化を導入したのは14世紀であり、日本では17世紀から儒家思想が称賛され始めた。これにより、韓国が最も早く漢字と儒家文化を輸入した国であり、ユニークな特色のある儒家文化を更に一歩進めてイノベーションしたと言えよう。また、これによって、14世紀から17世紀の間に中日韓の三か国の儒家思想上の異同があることになる。例えば、中韓両国は先祖の神殿制度を持つが、ただし、その建築の格式や祭祀用の道具などは同じ程度に変化した。この種の大同小異の精神文化も韓国伝統文化の一大推進力となった。

また、重要な経典の方面では、1999年に釜山大学博物館で金海鳳凰堂から『論語』の「公冶長」の一部を記した4片の木簡が発掘され、これは韓国で最初に発掘された経典の木簡であり、その使用の背景と新羅国学教育機関とには密接な関係が認められ、当時の教育で知りうる儒学経典の中心が『論語』と『孝経』であり、これらが学習者

の必読科目だったことが認められ、これは古代日本の学習科目と同様であった。つまり、中国の印刷技術と科挙制度が朝鮮半島に導入され、漢字による記録と儒家思想が普及したことも確認できた。西暦958年に高麗王朝が科挙を実施し始め、儒家經典が主要な試験科目となった。朝鮮時代には儒家思想は国教となり、一時は二種の重要な国家文献があり、それは公的な儒教の印刷文献としての『朝鮮王朝儀軌』と『国朝五礼儀』であったし、民間では朝鮮時代の儒家が中国で見聞した記録である『漂海録』があった。これらの經典は漢字記録を通じた社会の歴史遺産である儒家制度と言え、文学・政治・経済・制度・建築・服飾・飲食等のあらゆる方面の範囲を包含している。

韓国の漢字教育政策の変化では、韓国政府が1948年に漢字の廃止を決め、1951年に韓国文科省が最初に『常用漢字表 1000字』を制定し、教育漢字と称した。1972年には教育用基礎漢字表が制定され、1800字が収録された。1995年に漢文科目が選択科目に変わり、90年代の金大中大統領の決定のもと韓国数十年来の漢字使用の禁止令を打破し、漢字教育の復活が宣言された。以来、教育指導要領の修訂の一環として、韓国文科省は2015年に、2018年からの小学校3年生以上の教科書の中の漢字使用を宣言したが、残念ながら2018年に韓国政府はまた小学校教科書の漢字使用を廃止する政策を取った。

現在の韓国の小学生や中学生の漢字との接点は本屋や私塾に限られている。中学生・高校生の授業選択では、主に学習するのは韓国文科省の指定する900字だけである。大学選択科目あるいは中国文学科の専門課程では文部省は1800字を指定している。一般の韓国人が使用する漢字は主に漢文を韓国語の補助としており、新聞や書籍の中で、このような書き方がよく見られ、主に発音を漢字で書いて誤解することを防ぐのであって、地名や人名などに用いており、多くは漢字に注記を付し、しかし漢語をすべて書き出すことはできず、その程度に過ぎない。就職のためには漢語は学生が仕事を選ぶ際の入り口であり、多くの韓国企業は漢語の教養を平均的に求め、平均的な漢語の優秀な志願者には5%の加点を行うと宣言した。韓国の歴史文献の大多数は中国語で記載されており、漢字は韓国文化の伝承の補助的道具とな

り、同様に就職競争でも有力な条件となっており、韓国の新世代にとって漢字の学習は十分に重要であると看做せる。

最後に、姜先生は本日の授業内容の結論として、儒家文化が東アジア文明の基礎と模範となり、漢字はアジア国家の相互理解の鍵となると述べた。

(ウェブサイト: <https://oneasia.pccu.edu.tw/faculty.php>)

(原稿: 蔡珮菁・日文系副教授)

(翻訳: 齋藤正志・日文系副教授)